

# 産学官協働人財育成円卓会議から始まる“解決の形”（とりまとめ案）

人財に関わる課題は？

社会の「困った」

どうする？

アクション

解決の形は？

ビジョン

(資料6)

## 企業人財の不足 (資料2)

### ★求める人財は？

- ・やる気のある尖った人財
- ・自分で考える人財
- ・クリエイティブな人財

### ➢人財には誰がいる？

- ・新卒人財
- ・社会人（現役世代＋シニア人財）
- ・外国人（留学生を含む。）

### 何が必要か？

- ・大学生に対する学びの動機付け「育つ環境」づくり
- ・社会人に対する学びの場の提供
- ・ヨソモノ人財の呼び込み
- ・留学生の就学環境の整備

## 後継者や右腕人財の不足

### ★なぜ不足しているのか？

- ・中小企業ほど難しい新卒採用
- ・個々の中小企業での人財育成機会の不足
- ・農林業所得の低さ

### 何が必要か？

- ・学生が県内企業を知ること
- ・中小企業等後継者育成プログラムの構築
- ・農林業の付加価値向上

## 地域の担い手の不足

### ★なぜ不足しているのか？

- ・人口減少
- ・高齢化

### ➢地域の活性化に必要な人財は？

- ・コミュニティを日常的に支える人財
- ・地域づくりリーダー
- ・課題解決のために協働する人や団体をつなげるコーディネーター
- ・社会起業家

### 何が必要か？

- ・地域の人づくり支援

## 国際化

### ★なぜ国際化が必要か？

- ・企業等（中小企業を含む。）の海外展開の必要性
- ・インバウンド観光等を通じた地域経済活性化の必要性

### ➢国際化人財に必要な能力は？

- ・教養・マインドを持つ人財
- …日本・地域と世界の両方をよく理解した人財（「国際化＝語学力」の誤解）

### ➢企業の海外事業展開に必要なことは？

- ・環境対応力（新たな視点からの見方、情報収集力、商習慣の理解）
- ・海外要員の確保

### 何が必要か？

- ・「国際化」の本質の理解のための学生の意識付け
- ・国際化人財の量的確保

長野県には産学官協働の土台がある (資料3)

- ❖意欲ある人財が育つ環境をつくる
  - ・インターンシップの充実
  - ・メンター（助言者・指南役）の活用
  - ・実践的な学びの機会を提供する課題解決型カリキュラムの拡大

- ❖長野県に人財を呼び込む
  - ・長野県内に就職しようとする学生等の支援
  - ・既卒人財の呼び込み

- ❖企業、産業を次代に引き継ぐ人財を育成する
  - ・経営資質を備えた人財の育成

- ❖地域課題の解決を担う人財を育成する
  - ・地域と産学官が連携して課題解決を図るプロセスを通じた人財育成

- ❖国際化に対応する人財を育成する
  - ・国際化に対応できる教養・マインドを持った人財の育成
  - ・留学生の支援

- ❖一生涯にわたり活躍する人財が育つ環境をつくる
  - ・社会人への学びの動機付けと学びの場の確保

(資料4)

企業等

大学短大

行政地域

## 協働体制

### (プラットフォームの構築)

(資料5)

## 社会の「困った」を解決の形にする連携組織

### 信州産学官ひとづくりコンソーシアム

【運営会議】＝円卓会議  
企業、大学・短大、行政等で構成

### 【事業運営事務局】…“ひとづくり交流デスク”（仮称）

- \*プラットフォーム運営サポート
- \*相談等の窓口業務
- \*WEB管理
- \*企業、地域と大学・短大のマッチング
- \*取組開始の支援
- \*支援結果の整理と各主体へのフィードバック

長野県の未来を創造する人財育成を産学官協働で実現する  
～人づくりが地域と産業をつくる～

## 1 高等教育機関が人財を生み出す、長野県に人財を呼び込む

### 【目指すもの】

- ① 地域と産業を支える多様な人財の輩出
  - ・学生への動機付けにより意欲ある人財を輩出する
    - 「長野県の企業に就職したい！」新卒人財の輩出
    - 「中小企業がすごい！」、学生の中小企業への関心の拡大
  - ・若者が生き生きと活躍する
    - 大学・短大での学びを活かして若者が課題解決に果敢に挑戦！
    - 若者の創造力が次代を拓く
  - ・社会人財の力が充実する
    - 企業の人財育成プログラムを大学・短大がサポート
    - 「社会に貢献したい！」シニア世代のパワーアップ
  - ・世界と長野県をつなぐ人財が活躍する
- ② 「長野県で活躍しながら自分を磨きたい」人を全国から呼び込み
  - 長野県外の大学・短大に進学しても就職は県内に！
  - 「活躍の場と自分を磨く機会のある長野県で暮らしたい！」U・Iターン者の増加

## 2 地域×産業×高等教育機関＝地域創生 & 地域人財の育成

—今までにないコラボレーション、新しい発想・解決策、そして実践—

### 【目指すもの】

- ① 大学・短大と地域、企業の協働実践の拡大
  - ・新しい発想で地域の課題解決に取り組む
    - 大学・短大の「知」、住民の力、企業の資源のコラボレーション拡大
    - 新しい発想による地域課題解決の進展
  - ・地域に根ざした産業活動が拡大する
    - 地域資源を活かした商品開発、販路拡大、流通、販売等に企業の力が生きる
    - ビジネスチャンスの拡大
- ② 地域を創る取組を通じた人財育成
  - ・実践を通じて人財が育つ
    - 学生の実践経験が広がり、学びが深まる
    - 地域の人財がパワーアップ！
  - ・地域に人財を呼ぶ
    - 働く場、活躍の場がある地域に人が来る
  - ・人財を地域で共有する

## 【協働体制の立上げを支援する県の施策(案)】 (資料7)

### プラットフォーム構築

- ・事業の推進主体となるプラットフォームを産学官協働で構築するための支援を行う。

### 大学・地域連携事業

- ・円卓会議で提起された企業・地域の課題を解決するため、複数の大学が連携して行う事業に対して支援する。